

プレジジョン スラントタイプ 病棟でのご使用方法

370mL

※天然ゴムを使用していません。

Argyle™ Fukuroi Multi-Channel™ Drainage Set

プレジジョン スラントタイプの構造

ゴム球をポンピングして吸引を開始します。

2ボトル方式で吸引状態を持続しながら、正確な貯留物の計量と性状確認を行うことが可能です。

排液ボトル

Yアダプタ

ポンプとドレナージ カテーテルをつなぐ吸引口です。カテーテルに付属されている専用のコネクタでロック可能です。

集液ポート

ドレナージ カテーテルを接続します。

排液ボトルキャップ

排液口を閉じるキャップです。吸引を始める前に閉じます。

排液口

貯留物の排出を行う時に開放します。

クレンメ

貯留物が排液ボトルに移行するのを防ぎます。

逆止弁

貯留物が逆流するのを防ぎます。

少量目盛り

貯留物が少量の場合でも、排液ボトルを立てたまま計量することが可能です。

目盛り

貯留物の計量を行います。

吸引ボトル

一方弁

エアーを外部に排出してボトル内を陰圧状態にします。

ゴム球

ゴム球をポンピングして、バルーンを膨張させます。

ロックリング付コネクタ

ロックリングにより連結チューブと吸引ボトルを確実につなぎます。

コネクタ用キャップ

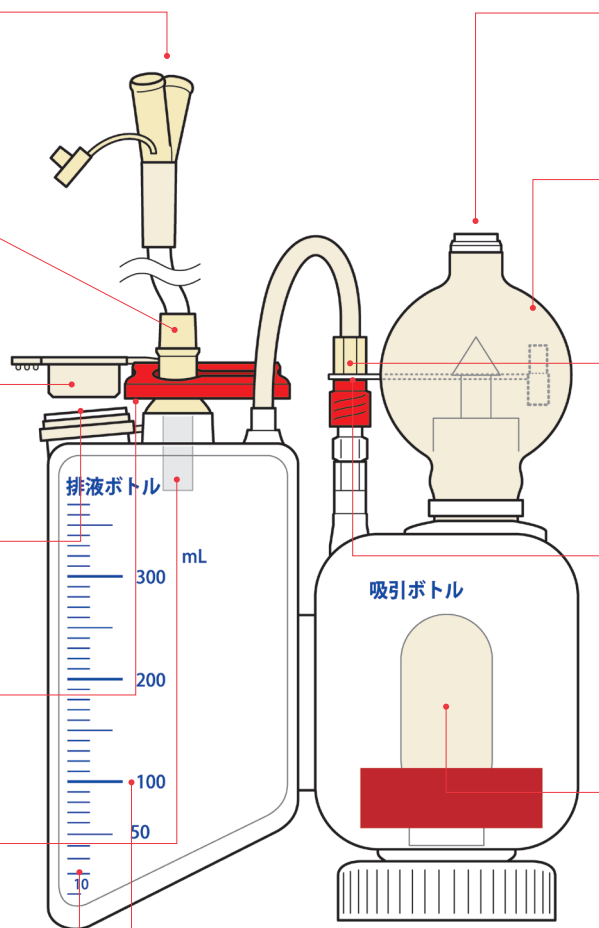
自然排液の際は、ロックリングコネクタを外しコネクタ用キャップで連結チューブを閉じます。

バルーン

ゴム球をポンピングする事でボトル内が陰圧になりバルーンが膨張します。

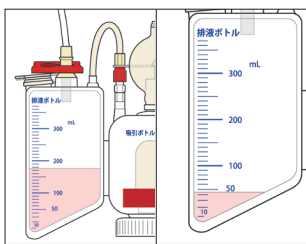
専用ポシエット

病室でもポシエットに入れて、できるだけ吊り下げて使用してください。

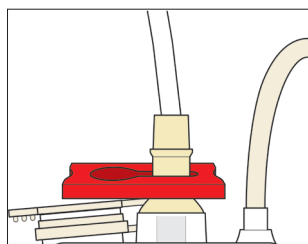


※ 本製品はカーディナルヘルスのマルチチャンネル ドレナージ カテーテルSとの専用品であり他社品とは組合せ使用できません。

1. 排泄の計量／排出

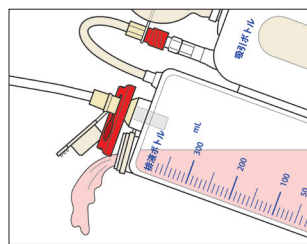


1. 排泄ボトルの容量目盛りで計量します。貯留物が少量の場合でも、排泄ボトルを立てたまま計量することが可能です。

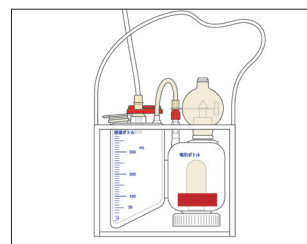


2. クレンメで集液ポートを閉じます。

※ クレンメは集液ポートを閉鎖するためのものであり、延長チューブに移動させて使用しないで下さい。



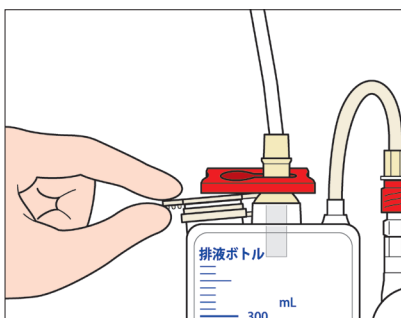
3. 排泄口のキャップを開け、ボトルを傾け、排泄口から排出します。



4. 必要に応じポンプをポシェットにしっかりと収納します。

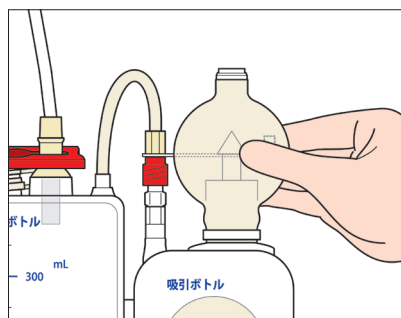
※ ポンプを設置する場合は、創部より低い位置に設置、もしくはポシェットに入れて吊り下げて下さい。
※ 吸引ボトル内に貯留した排泄ボトルの排泄が移行することを防ぐため、ポンプは立てた状態で使用してください。

2. 吸引操作の再開

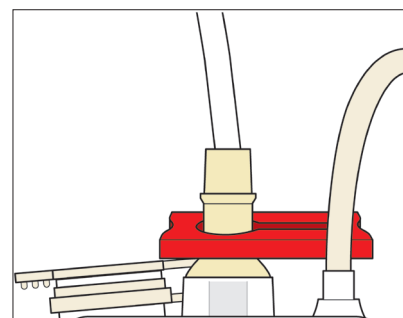


1. 集液ポートをクレンメで閉鎖し、排泄ボトルキャップを閉じます。

※ クレンメは集液ポートを閉鎖するためのものであり、延長チューブに移動させて使用しないで下さい。



2. 吸引ボトルのゴム球を押してポンピングし、バルーンを膨張させます。



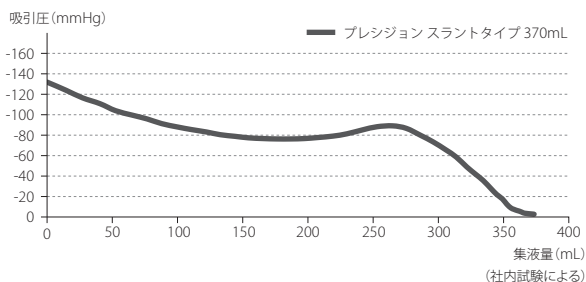
3. クレンメを開き、吸引を開始します。

※ 初回吸引操作時は始めにゴム球を圧縮して正しく作動するかを確認してください。

※ 各接続部の接続状態や吸引状態は適宜観察してください。

※ 自然排泄を行う場合は、ロックリング付コネクタをアダプタから外して、付属のコネクタ用キャップを取り付けて下さい。

吸引圧と集液量



販売名 : マルチチャネル ドレナージ ポンプ
医療機器届出番号 : 09B1X00004000147
製造販売元 : フォルテグロウメディカル株式会社



製品情報
FAQサイトはこちら


CardinalHealth™

お問い合わせ先
カーディナルヘルス株式会社
Tel : 0120-917-205
cardinalhealth.jp